

「まちづくり研究会」第2回公開研究会報告

★「復興支援、これからの防災～東京から考える～」を開催しました。

10月7日（金）13時～16時、東京都生協連会館にて開催しました。40名近い方にご参加いただき盛況のうちに終了しました。

東京大学の西隆教授より、東日本大震災復興構想会議の「復興基本方針」の内容を「復興まちづくり会社」の提案など、被災地のまちづくりとのかかわりから講演をいただきました。

また、パネルディスカッションでは、東京の防災への課題として、帰宅困難者対策や受援計画などに行政はどのように取り組むのか、生協などの事業者や市民はどうするべきか、生協関係者や研究会メンバーなど参加者からの発言も交え議論しました。



●被災地のまちづくりと復興構想

講師：大西隆氏

（東京大学大学院教授、東日本大震災復興構想会議委員）

●パネルディスカッション：東京から考える復興支援 東京の防災—東日本大震災を受けて

パネリスト：

西田 穰氏（地域計画研究所代表、当研究所常任理事）

福田伸章氏（東京災害ボランティアネットワーク事務局次長、当研究所常任理事）

吉川忠寛氏（防災都市計画研究所長）

このシンポジウムの模様や各パネリストの論考は12月発行予定の『まちと暮らし研究』14号（特集：東日本大震災から学ぶもの（仮題））に掲載します。

★研究助成公募を締め切りました。

2011年度地域生活研究所一般研究助成は9月末の締め切りまでに30件の応募がありました。今後、選考委員会で選考を進めていきます。選考結果は12月上旬に発表予定です。